

官報

號外

明治二十九年一月二十八日

火曜日 內閣官報局

第九回衆議院議事速記録第十三號

帝國議會 明治二十九年一月二十七日(月曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第十三號 明治二十九年一月二十七日

午後一時開議

- 第一 國債證券買入銷却法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二 新聞紙法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第三 新聞紙法案 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第四 明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案(草刈親明君外三名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ報告ヲ致シマスル

(佐脇書記官朗讀)

高木正年君ヨリ海軍擴張ノ程度ニ關スル件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鑛業法案

提出者 中村 彌 六君

平岡浩太郎君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案

審查特別委員長

同理事

森林法案審查特別委員長

同理事

特別委員左ノ通り指名セリ

明治二十八年勅令第四百十四號審查特別委員

須藤時一郎君

千葉禎太郎君

工藤 行 幹君

阪田 昌 熾君

平岡浩太郎君

富永 正 男君

栗原 亮 一君

高田 早 苗君

市島 謙 吉君

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案審查特別委員

山田 泰 造君

平田 箴 君

澁江 公 寧君

守屋 此 助君

重岡 薰五郎君

鳩山 和 夫君

竹内 正 志君

谷澤 龍 藏君

鎌田 勝太郎君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
海軍擴張ノ程度ニ關スル質問
右成規ニ據リ提出候也
明治二十九年一月二十五日

提出者 高木 正年
贊成者 名 倉 次
外三十名

海軍擴張ノ程度ニ關スル質問

海軍ノ擴張ハ造船術ノ發達ヲ以テ擴張ノ根底ト爲サ、ルヘカラス然ルニ政府ハ僅ニ造船ニ關スル小計畫ヲ爲スノミニシテ充分ナル設計ヲ爲サ、ルハ如何

造船擴張ノ準備中尤モ年所ヲ要スルハ職工ノ養成ナリトス然ルニ政府ハ之カ準備ノ法方ヲ講セサルハ如何

職工ノ養成ハ其始ニ之ヲ習ハシムルニ止マラス永ク之ヲ補成シ且ツ練熟シタル技術者ヲ保育スルヲ要ス然ルニ海軍造船所ノ例規トシテ一定ノ年限ヲ限リ其年限ニ至レハ假令技術ノ練達壯者ニ勝サルアルモ例規上之ヲ解放スルカ故ニ職工生徒ハ其學習課ヲ竟リ僅々ノ年月ヲ經レハ他ニ吸收セラレテ満足ニ其技術ヲ應用スル能ハス政府ハ何故ニ之カ獎勵ノ道ヲ設ケテ之カ勸續ヲ欲セサルヤ如何

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、政府ニ質問ノ辯明ガゴザイマス、高木正年君

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百二十九番) 私ハ海軍ノ擴張ノ程度ニ關係致スコトニ就イテ質問ヲ呈シマシタ、此事ニ就イテ少シク御話セネバナラヌコトガゴザリマス、一體此自分ガ今日政府ニ向ッテ提出シマシタ質問書ノ要用ナル事柄ハ、本年度ノ豫算ヲ議シマスニ方リマシテ、最モ必要ナル事柄デアルト自分ハ思フテ居ルノデゴザリマス、デ、其要點ハ三ツ程アルノデゴザリマス、第一ガ海軍ノ擴張ト云フモノハ、一體經常ノ時ノ性質カラ申シマシタナラバ、將來ハ日本ト云フ國ノ獨力デ製造ト云フモノヲ全クセネバナラヌト云フコトガ、今日最モ必要ナ問題デアアル、此問題ニ就イテ政府ハ如何ナル準備ヲ致レテ居ルカト云フトデス、或ル部面ニ向ッテハ擴張ヲ爲シテ居ルガ如クデゴザリマスルガ、實際之ヲ考ヘテ見マスルト、總テノ準備ニ於テ大體ノ方針ガ拙ッテ居ラヌト云フコトガ、私ノ認メテ缺點ト思フ所デゴザリマス、今一ツニハ、造船ト云フモノハ如何ナルモノガ最モ最要部分デアッテ、其最要部分ニ

就イテ、政府ハ如何ナル方針ヲ執ツテ是ガ準備ヲ致シテ居ルカト云フコトヲ尋ネマスルト、職工ノ養成ト云フモノニ向ツテハ、甚ダ吾々ガ見テ十分ナル準備ヲナシテ居ラヌト云フコトガ認メラレバ第二デゴザイマス、今一ツハ、職工ノ養成ト云フコトヲ既ニ必要アルト認メタ以上ハ、職工ヲシテ長ク此造船事業、若クハ兵器ノ製造ト云フ上ニ於テ之ヲ養ヒツ、且ツ之ヲ獎勵保護スルト云フコトヲセバナラヌガ、海軍ノ今日ハ此點ニ向ヒテ大ナル缺點ガアルト云フコトハ、即チ此三ツヲ認メテ缺點ト爲ス所デゴザイマス、段々委シキ事實ハ申シマスルガ、先ヅ大體ニ於テ私ガ今日申サネバナラヌト云フコトハ、日本ノ海軍ノ形勢ト云フコトハ、確ニ二十七八年ノ戰爭以後ニ於テ一變致シテ居ルト云フコトヲ申サネバナラヌ、今更繰返シテ申スモ、既往ノ悔ヲ述ブルニ過ギマセヌケレドモ、若シ遼東半島ト云フモノガ日本ノ範圍ノ内ニ今日以後存シテ居ルナラバ、隨分陸軍ノ力ノミデモ、東洋ノ霸權ヲ握ルコトガ出來ルノデアラウト思フノデゴザイマス、サリナガラ東洋ノ霸權ト云ハノリ、寧ロ平和ヲ維持スル所ノ根據ト爲ル所ノ占領地ト云フモノハ、却テ之ヲ支那ニ返シタニアラズシテ、今日ハ他國ノ手ニ委シタト云フ今日ノ危ムベキ形勢ニ於テハ、以前ハ兎モ角モ、今日以後ハ則チ海軍其モノ、力ガ第一ノ働ヲ爲サネバナラヌ、第一ノ根據ヲ作ラネバナラヌト云フ今日ノ形勢デゴザイマス、此場合ニ於テ、海軍ノ擴張ト云フモノハ第一第二ノ手段ニ由ラネバナラヌ、第一ハ何デアアルカト云フト、即チ臨機ノ處分デゴザイマス、即チ造船ト云フモノハ、日本其モノガ製造スルガ利益ト云フコトヲ認メテ居ルニモ拘ラズ、此場合ニ於テ他國ニ依頼シテ製造セバナラヌト云フ臨機ノ處分ガ出テ來ルノデゴザイマス、今日ハ專ラ手段ニ依ツテ政府モ議案ヲ發シテゴザイマスルガ、自國ノ造船ハ未ダ準備ガ出來ナイト云ツテ、其準備マデ意ルト云フコトノ一段ニ至ツテハ、私ノ痛歎ニ堪ヘナイ所デゴザイマス、本年度ノ豫算ノ上ニ現レタ所ノ製艦費ハ、如何ナル性質ヲ持ツテ居ルカト云フト、二十九年度ニ於テ現レタ議案ノ中デ、日本帝國ノ力デ以テ製造スルモノハ、唯僅ニ一艘ノ軍艦デゴザイマス、水雷ニ關係シタ船ハ澤山出來テ居リマスルガ、即チ戰鬪ノ力ヲ持ツ所ノ船ハ確ニ僅ニ一艘デゴザイマス、本年ハ是等ノ準備ガ十分ナラザルカラト云ツテ、此事ハ已ムヲ得ザルト申シテ宜シイカト考ヘテ見マスルト、初メ申シタ如ク、準備ノ出來ナイト云フコトヲ土臺ニシテ、尙ホ準備ヲ意ルト云フハ、抑大體ニ於テ、國家ノ最大要務タル所ノ軍備ノ大體ヲ誤ルモノト云フハ、抑大體ニ於テ、國家ノ最大要務タル、造船ト云フモノハ、サウ俄ニ出來得ルモノデゴザイマセヌ、財源ヲ造リ、之ニ向ツテ材料ノ購入ヲナスト云フノデモ、一年ノ日子ハ或ハ盡ルコトガゴザイマス、本年ニ於テ準備ガ居カヌトカ申シテモ、僅ニ一艘ノ設計ノミヲ爲スト云フコトハ、是レ亦怠ルノ甚シイモノト私ハ申サネバナラヌノデゴザイマス、大體ノ計畫ノ上ニ就イテ斯ノ如ク私ノ認メテ遺憾ト爲ス所ノ決心アルノミナラズ、一體擴張ト云フ文字ハ如何ナル意味ニ解スルガ一番至當デ

アルカト申シマスルト、例ヘバ陸軍ノ事デ申シマシタ所ガ六師團ガ十二師團ニナツテ、直チニ擴張ニナツタト云フコトハ言葉デ言得ルコトデゴザイマスガ、事實ニ於テハ決シテ眞ノ擴張ト申スノデゴザイマセヌ、何時タリトモ五十萬ノ兵、六十萬ノ兵ヲ直チニ揃ヘテ、日本全國ノ人ガ國ト云フモノ、上ニ就イテ熱血ヲ瀝イデ、一號令ノ下ニ直チニ集ルト云フ準備、若クハ是等ノ要素ガ備ツテ、始メテ擴張ト云フ文字ノ完成ヲ期スルノデゴザイマス、唯豫算ノ上ニ金額ガ出タノデ、即チ擴張ト云フ事實ヲ備ヘタノデゴザイマセヌ、海軍ノ擴張ニ於テモ則チ其通デゴザイマス、軍艦ノ製造ガ經常費ニ現レタノミデ、擴張ト云フ事實ガ舉ルノデゴザイマセヌ、即チ總テノ準備、總テノ分子ガ揃フ後ニ於テ、始メテ擴張ト云フ事實ガ完成致スノデゴザイマス、丁度二十四年ノ時分ノ議會デゴザイマシタ、私ハ屢々當時豫算委員デゴザイマシタガ、政府ニ對シテ申シタコトガゴザイマス、一體製造ノ上ニ就イテ何ガ一番要用デアアルカト云フト、職工ノ養成程要用ナモノハゴザイマセヌ、一體技術ト云フモノハ、字書ニ依ツテ解釋シ得ラル、モノニ於テ、始メテ熟達致スデアリマセヌ、實地練習シテ而シテ後ニ、技術熟成ト云フモノガ成ルノデゴザイマス、一ノ金巾ヲ織ルニシテモ、外國ノ金巾製造所ガ漫ニ人ニ見セルコトヲ嫌フハ何デアアルカト云フト、所謂文字ノ以外ニ、職工ノ自ラ見ル所、自ラ慣ル、所ニ依ツテ技術ノ熟成ト云フモノヲ期スルト云フコトヲ知ツタ以上ハ、海軍ノ造船所ノ完成ト云フモノモ、須カラク職工其者ノ練達トヲ來タサシムル途ヲ講セバナラヌ、一人ノ技師ハ三艘、四艘ノ設計ヲ造ルコトハ出來マスケレドモ、二人ノ職工ハ一ノ艦船ヲ造ルコトガ出來ナイ、其部門々々ニ當ツテ熟練ノ者ヲ當嵌メテ、始メテ艦船ヲ製造シ得ルモノデゴザイマス、之ニ附イテ私ノ政府ニ申シタノハ斯様ナ意味デゴザイマシタ、今製造ト云フコトニ附イテ生徒ヲ派遣シタトテ、容易ニ外國ノ製造所ハ之ニ向ツテ教ユルコトハ爲サナイ管デアアル、此邊ハ其製造所製造所ノ專賣デアアルカラ、容易ニ窺フコトハ出來ナイ管デアアル、金巾ノ製造所ニ日本人ガ往ツテモ入レナイト同様デアリマス、サリナガラ日本ガ軍艦ヲ製造スルニ當ツテ、此軍艦ニ附ケテ軍艦ノ見習トシ、水夫ノ名義ニテモ火夫ノ名ニテモ多クノ職工ヲ派遣セシメテコソ、政府ガ製造セシムル造船ニ附イテ練達ノ途ヲ開カバ、如何ナル製造所ニテモ拒ムコトハ出來ナイ管デアアル、故ニ生徒ヲ養ヒ、生徒ヲ熟達セシムルコトヲセシメタナラバ、日本ノ造船ハ早ク整フデアラウト云フコトヲ申シタノデゴザイマス、然シテ今日海軍ノ造船部ニ於テ、斯ノ如キコトハ未ダ十分ニ爲シテ居ラヌノデゴザイマス、唯僅ニ志メムンズ式製鋼ニ附イテハ、佛蘭西ニ生徒ヲヤツタト云フコトハ事實デゴザイマスガ、十分ノ成績ガ舉ガツテ居ラヌコトモ事實デゴザイマス、斯様ナ方法ニシテ生徒ヲ養ヒツ、アルナラバ、他日第二ノ計畫シテ日本の造船ノ十分ニ擴張シ得ラル、時ノ間ニ合フニモ拘ラズ、今日ハ第二ノ擴張準備ヲ爲サナイト云フコトハ、甚ダ自分ノ遺憾ニ思フ所デゴザイマス、デ、第三ニ唯今申シタ如ク、生徒ノ養成ト云フコトヲ既ニ必要デア

ルト云フ以上ハ、此生徒ヲシテ——得業生トシテ長ク造船所ニ留メルト云フコトヲシナケレバ、折角卒業サセテモ、イツデモ其職工ガ逃ゲテ往クト云フコトデハ、到底満足ナル技術ヲ保存スルコトガ出来ザルノミナラズ、造船所其モノモ實效ヲ舉ゲルコトガ出来ナイ、海軍ニハ斯様な事實ガアル、造船所ニ於テ、一ハ一定ノ年限ヲ定メテ四十又ハ五十ニ至レバ職工ヲ解放スルト云フ事實ガアリマス、普通ノ製造所デゴザリマスレバ、四十以上五十ニナレバ、縱令壯者ノ資格ガナクモ其熟練ニ依ッテ却テ之ヲ増給シテ使フトカ、若クハ監督者ノ地位ニ立タシムルト云フ、種々使用法ニ依ッテ、是等ノ人ノ永年忠勤シタ所ノ事柄ヲ獎勵シ、若クハ其技術モ長ク其造船所若クハ製鐵所ニ於テ便利ニ供スルコトガ出来ルノデアル、海軍ハ縱令技術ハ宜クテモ年限ニ至レバ解放スルト云フタメニ、造船所ニ養フ所ノ職工、生徒ハ何時デモ少シク手間ガ取レルヤウニナレバ逃ゲテ行クト云フノハ、今日ノ事實デアル、何故ナレバ海軍ニ居ルヨリモ私立ノ造船所若クハ製鐵所ニ居レバ、長ク自分ノ飯ヲ食フコトニ困ラヌコトデアルガ、海軍ニ居レバ解放サレルト云フノデ、居ッテモ詰ラヌト云フノハ人情ノ然ラシムルコトデゴザイマス、始ニ申シマスル如ク、海軍ノ擴張ト云フコトハドウシテモ日本其モノガ自分ノ力ニテナケレバナラヌト云フコトガ、大體海軍ノ擴張ノ骨子デアルト考ヘタナレバ、即チ造船ト云フコトニ附イテ、以來之ヲ研究シナケレバナラヌ、造船ノ準備ニ付イテハ熱心之ヲ擴張シナケレバナラヌノデゴザイマス、一體日清戰爭ト云フモノハ、實ニ日本其モノ、海軍技術ノ上ニ賜フ所ノ一ノ特典デゴザイマス、何故ニ斯様ニ申シマスルカト云フト、海軍ノ近來ノ大戰爭ト云フモノハ殆ド日清ノ戰爭ヲ指イテ外ニ其例ガナイノデゴザイマス、僅ニ智利ノ變亂、少時間ノ戰爭位ニ止ッテ、大體海軍技術ノ發明若クハ將來ノ經驗ト認ムベキモノハ則チ二十七八年度ノ戰爭ニ過ギナイノデゴザイマス、海軍ノ造船ハ實ニ最モ至難ノ事柄デゴザイマス、之ガ普通ノ商船杯デゴザイマスレバ、唯速力サヘ早クシ、及經濟ノ點ニ於テ價フモノガアレバ、則チ造船ノ方法ガ立ツモノデゴザイマスガ、戰艦用ノ造船ハ左様ナ容易ナモノデハゴザイマセヌ、諸君モ知ラル、如ク軍艦ニハ三ツノ性質ハ持タネバナラヌ、所謂裝甲即チ鋼鐵ノ厚キコトヲ望ムコト、今一ツハ兵器ノ十分ニ滿載スルコト、即チ戰艦用ノ器械十分備ルコト、今一ツハ速力早キコト、又速力ニ附イテ今一ツ申スベキコトハ、即チ石炭ノ維持力デアル、之ニ浮力即チ軍艦ヲ浮ベル力ヲ持タネバナラヌ、此三ツノモノ……此三ツノモノハ互ニ矛盾スルト云フ性質ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、鋼鐵ヲ厚クスレバ船ヲ浮ベル力ガ少ナクナル、石炭ノ維持力ヲ高メレバ、則チ大砲ヲ載セルト云フ所ノ噸ヲ減ズルノデゴザイマス、斯様ニ弱點多キモノガ則チ軍艦製造其モノ、性質デゴザイマスカラ、何レノ軍艦ニモ互ニ少シク缺點ハアルノデゴザイマス、況ヤ無經驗ノ間ニ唯技術ノ進歩ヲ爲シタ所ノ製造所デゴザイマスカラ、此日清戰爭ニ依ッテ發明セラレタ所、經驗セラレタモノハ澤山アルノデゴザイマス、若シ之ヲ唯日本國ガ此

戰爭ニ依ッテ經驗シタリトシテ、唯他國ニ製造セシメンカ、日本國ガ多ク熱血ヲ瀉ギ、多ク國貨ヲ費シタ結果ハ他國ニ向ッテ發明ノ材料ヲ與ヘタニ過ギナイデアリマス、何レノ船ニモ弱點ガゴザイマス、此弱點ヲ彼ニ知ラシテ、他日戰爭ノ時ニ及ンデ若シ其製造ヲ託シタ國ガ、若シ敵國ニナッタナレバ、非常ニ不利ヲ見ルノデゴザイマス、自ラ是等ノ掛引ヲ爲シテ、之ヲ巧ニ利用シテ始テ日本帝國ノ海軍ノ万歳ハ謳ヘルノデゴザイマス、サリナガラ今日ハ非常ノ時デ、臨機ノ處分トシテ外國ニ詔ヘナケレバナラヌト云フ、已ムヲ得ザル手段ヲ執ラナケレバナラヌ時デアル、第二ノ擴張トシテ準備成ラザルヲ口實トシテ、是等ノコトヲ意ルノハ大失策ト言ハナケレバナラヌ、是等ノ準備ハ先ヅ第一著手シナケレバナラヌ、即チ其要點ハ職工ノ養成ニ在ルト云フコトガ、私ハ此質問書ニ對スル辯論ノ趣意デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ議事日程ノ第一、國債證券買入銷却法案ノ第一讀會ニ移リマス——箕浦勝人君

第一 國債證券買入銷却法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

(箕浦勝人君演壇ニ登ル)

○箕浦勝人君(百四十二番) 國債證券買入銷却法案ノ委員會ノ意見ヲ御報道致シマス、此案ハ國債ヲ銷却スルニ方ッテ現行ノ如ク之ヲ籤抽ヲ以テ銷却スルバカリデナク、其外ニ更ニ公債ヲ買入レテ銷却スルト云フ方法ヲ加ヘテ、之ヲ併セ用ヒタイト云フ案デアリマス、之ヲ審查スルニ當ッテ第一ニ講究ヲシマシタノガ、元來是マデノ公債ヲ募ル時ニ方ッテ、始カラ公債ヲ買入レテ銷却スルコトモアルト云フコトニ定ツテ居レバ一モ二モナイコトデアルガ、サウデハナクシテ、今日マデハ必ズ籤抽ヲ以テ銷却スルト云フコトニ規定シテアル、然ルニ中途カラ買入銷却ト云フ一ツノ方法ヲ用ヒヤウト云フコトデアルカラ、ソレガタメニ或ハ公債ノ所有者ニ對シテ不正——正道ニ違ヒタル所爲ニ當ルコトハナイカト云フコトヲ穿鑿ヲシテ見マシタガ、若モ是ガ政府ガ一ツノ價ヲ定メテ無理往生ニ其價ニ依ッテ買上ゲルナレバ、是ハ甚ダ不正ノ所爲デアル、サリナガラ此法案ノ所爲ハ左様デハナクシテ、詰リ市場ノ相場ニ依ッテ公債ノ所有者ガ何程ノ價デ賣リタイト云フ賣物ヲ出シタ時ニ、政府ハ其價ニ依ッテ買フノデアリマスカラ、決シテ無理往生ニ買フト云フノデハナシ、強制的ニ買フト云フノデナクシテ、所謂市場ノ相場デ任意ノ相場ニ依ッテ買フト云フ、公債ヲ賣リタクナイト云フモノヲ無理ニ買フノデナクシテ、幾ラデ賣リタイト云フテ市場ニ持出シタモノヲ買フノデ、公債ノ賣主ガ主動者デ、政府ハ受動——受ケ身ニナルノデ、斯ウ云フ譯デアルカラ決シテ所有者ニ對シテ正道ニ違フタル所爲デハナイト云フコトハ明デアル、サウシタ所デ此法案ノ結果トシテ、或ハ公債ノ所有者ニ大變迷惑ヲ掛ケルヤウナコトハナイカト云フコトヲ、次ニ穿鑿ヲシマシタガ、是モ大抵迷惑ヲ掛ケルト云フコトハナイヤウデアリマス、若モ政府ガ公債ヲ買フノデナクシテ無闇ニ

公債ヲ賣出スト云フコトデアレバ、公債ノ價格ガ下ル、下ツテ公債ノ所有者モ困ルカモ知レナイ、併シ是ハ反對デ政府ガ買フト云フ働ノ結果トシテ、公債ノ價ヲ維持スルコトガアツテモ、下ルト云フコトハナイ譯デアアル、唯斯ウ云フ一ツノ説ガアル、政府ガ公債ヲ買ハウト云フ時ハ、必ズ公債ノ價格ガ額面以下ニ大ニ下ツタ時デアアル、其時ハ公債ノ所有者ハ、今公債ノ所有者ハ下ツテ居ルガ、若シ鑛抽ニナツテ鑛ニ當レバ、額面ダケノモノガ得ラレルト云フコトヲ望シテ居ル、其望ヲ丸デ打壞シテ仕舞フト云フコトハアル、斯ウ云フコトガアリマスガ、併ナガラ幾ラカサウ云フ事情モアリマセウ、公債ノ下ツタ時ハ鑛當リニナレバ額面ダケノモノハ貰ヘルト云フ、萬一ノ僥倖スルト云フ望ノ者モ幾ラカアルカモ知レナイ、併ナガラ其場合ニ政府ガ公債ヲ買入レルト云フコトニナリマススト云フト、言ハハ公債ノ價ニ底ヲ入レルト云フコトデ、公債ガ段々下ツテ來ル、ソコデ此時ニ政府ガ買フカラ底ガ這入ツテ餘リ下ラナイデ、公債ノ價ヲ維持スルコト云フコトニナル、サウスルト價ヲ維持シタメニ利益ヲ蒙ル人ハ大層多クテ、萬一ノ僥倖スルト云フ者ハ極少ナク、例ヘバ公債ガ三億七千萬圓アルトシマシタ内デ、七百萬圓ダケ公債ヲ償還シヤウト、サウスルト三億七千萬圓ニ對スル七百萬ダカラ、丁度三百七十分ノ七、鑛當リノ萬一ノ僥倖スルト云フ者ハ唯僅ニ七デアツテ、公債ノ價ヲ維持スルタメニ利益ヲ蒙ル者ハ三百七十ト云フコトハ明ニナルカラシテ、無論萬一ノ僥倖スルト云フ僅ノ者ヨリモ、公債ノ價ヲ維持シテ其利益ヲ蒙ルト云フ者ノ方ガ多イト云フコトハ明デアアル、右様ナ次第デアリマスカラ、別段ニ此公債ノ所有者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトハナイ、勿論此法案ヲ發スルト云フコトハ、決シテ公債ノ價ヲ維持スルコト云フ目的ヲ以テ發スルノデハナクシテ、詰リ害ノナキ仕方ニ於テ國庫ガ幾分カ利益ヲ得ルコトガ出來ルナラバ、ソレヲ得ヤウト云フダケノコトデアツテ、ソレヲ偶、公債ノ價ヲ維持スルト云フコトガアレバ、是ハ偶然ノ結果デアツテ、此法案ノ望ム所ノ目的デハナイ、要スルニ餘リ此法案ノ效能ハ多クハナイカモ知レマセヌ、效能ハ多クハナイカモ知レマセヌガ、併ナガラ此法案ヲ行フタカラト云フテ何モ外ニ害ガナイ、差支ハナイ、差支ガナイナラバ效能ハ少ナクトモ、少シデモ國庫ニ利益ヲ與ヘルト云フ働ヲ與ヘルト云フコトハ、極デ然ルベキコトデアアル、ソレデ公債ノ下ツタル場合ニ、是ヲ買入レテ銷却スルト言ヘハ、始め豫算ニ極メタ金額ヨリモ餘計ナ金ヲ銷却スルコトガ出來ル、七百萬ヲ銷却スルト云フ場合ニ五圓下ツタトシテモ五、七、三十五萬圓ダケ餘計銷却スルコトニナル、斯ウ云フ勘定ニナル、若モ此後公債ガ下ツテ、此法案ヲ適用スルト云フ機會ガ多ク起ルカ起ラナイカト云フコトハ、是ハ銘々ノ見込デゴザイマスガ、左様ナ場合ガ起ルカ起ラナイカト云フコトハ、何トモ申サレマセヌガ、マア餘リ此法律ガ出來タカト云フテ、國庫ガ非常ナ利益ヲ受ケルト云フコトハ無論ナイコトデアルト思フ、サリナガラ公債ノ下ツタ場合ニ於テハ、幾分カ利益ヲ受ケルニ就イデハ、其利益ノ幾分カノ利益ヲ受ケルタメニ、少シデモ公債ノ所

有者ニ對シテ正道ヲ失フト云フヤウナ所爲ニナリ、或ハ其利益ヲ害スルト云フヤウナコトガアレバ宜シクナイデアリマスガ、ソレノナイ以上ハ、害ノナキ仕方ニ於テ國庫ニ利益ヲ與ヘルト云フコトハ差支ナカラウト云フコトガ、委員會ノ意見デアリマス、ソレダケヲ御報道致シマス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 一寸質問致シタイ、唯今委員長ノ述べラレル所ニ依ツテ見ルト、三億七千万ノ公債ガ出テ居ル、其公債ニ對シテ安クナタ時分ニ政府ガ買上ゲルト云フコトデアレバ、公債ノ價格ト云フモノガ騰ルカラ利益ヲ得ル公債ノ所有者ニ異議ガナカラウト云フコトデアアル、併ナガラ三億七千万ト云フ金、其所有者ト云フモノハ其利子ト云フモノヲ以テ目的トシテ募集ニ應ジテ居ル、旁々致シテ居ルノデアリマスカラ、其高クナタ時ハ買上ゲナイ、安クナタ時ハ買上ゲルト云フコトデアリマススト、或ハ少シ我儘ト云フコトハナイカ、其點ハドウカ御話ガアリマシタカ

○箕浦勝人君(二百四十二番) ソレハ我儘ノコトハナイト云フコトノ決議デアリマシタ詰リ公債ヲ買フト云フテモ無理往生ニ買フノデナクシテ、賣リタイト云フ人ガアル時其時ニハ買フト云フ丈デ、少モ公債ガ所有者ニ對シテ何等ノ迷惑ヲ掛ケナイ

○眞下珂十郎君(二百四十二番) ソレハ公債ノ所有者ガ差支ガナイト云フコトナラバ宜シイガ、併シ安クナレバ買フガ、高イ時ハ買ハヌト云フコトニ就イテハ……

○箕浦勝人君(二百四十二番) 高クナタテ買フト國庫ガ損ヲスル、サウ云フ不必要ナ損ヲ國庫ガ蒙ルト云フ必要モナイ

○議長(楠本正隆君) 例ニ依ツテ決議ヲ採リマス、該案ニ對シテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數

○吉本榮吉君(八十二番) 是モ簡單ナモノデアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ直ニ確定セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 吉本君ノ直ニ讀會ヲ省略シテ確定ヲ要スルト云フ……

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、ソコデ又該案ニ對シテモ、別段問題ニ供スルニ御異議ナシト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 全會一致ヲ以テ確定致シマス、次ハ日程ノ第二、新聞紙法案ノ一讀會ノ續、委員長肥塚龍君

第二 新聞紙法案 政府提出

第一讀會ノ續 (特別委員 長報告)

(肥塚龍君演壇ニ登ル)

○肥塚龍君(百七番) 新聞紙法案ノ委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、委員會ニ於テハ本月十三日ニ役員ノ選舉ヲ——委員長、理事ノ選舉ヲ致シマシテ、ソレカラ二回會議ヲ開キマシタ、二回會議ヲ開キマシタガ、其會議ノ結果ハ御手許へ廻ッテ居リマスル通り、此政府案ニ賛成案ノ精神ヲ加入致シマシテ、ソレデ此修正案ト云フモノニ致シマシテゴザイマス、其修正案ノ中ノ細カナ箇條ハ澤山ニゴザイマスルガ、其要旨ヲバ摘シテ申シテ見マスルト、政府案ノ方ニハ保證金ト云フ箇條ト、ソレカラ發行停止ト云フ、此二箇條ガアルノデゴザイマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ、發行停止ノ必要ハナコトニナルカラ、此保證金ノ一條ト、發行停止ノ一件ト、此二ツヲバ削ッテ、サウシテ修正ヲ致シマシタ、之ヲ削ッタノハ則チ賛成案ノハ是ガナイノデゴザイマシテ、此二ツノモノヲバ削除致シマシタノデゴザイマス、ソレデ此修正案ノ委員會ノ模様ハドウデアアルカト申シマスルト云フト、委員會ハ一人ヲ除キマシテ外ハ此修正案ニ總賛成デゴザイマスカラシテ、此段御報告致シマスルガ、若シ御質問ガアレバ御答モ致シマセウガ、其他ニ別ニ御報告スベキ程ノコトモナイト考ヘマス

(質問ナシ) (異議ナシ) (ト呼フ者アリ)

○田中正造君(二百九十番) 此案ニ對シマスル政府委員ハ出テ居リマスカ

○議長(楠本正隆君) 唯今出席ヲ促シテ居リマス

○田中正造君(二百九十番) 出テ居リマセヌカ

○議長(楠本正隆君) マダ出マセヌ

○田中正造君(二百九十番) 各員ニモ御記憶ヲ願フ、且ツ速記録ニモ確ト記載ヲ致シタイ、此修正案ヲシテ、政府ハ果シテ能ク之ニ同意シテ居ルモノト見エル、是ニ不同意デアレバ、大臣ヲ始め必ズ出席シテ之ニ相當ノ議論ヲ爲スコト、辯護ヲナス必要ガアル、其必要ナキヲ認メテ出席ナキコトハ、速記録ニ確ト記載ヲ致シ、且ツ又各員ニモ御記憶アラシコトヲ請フノデアアル、決シテ此事ハ由々シキコト、輕々シキコトデナイ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ通告順ニ登壇ヲ促シマス、小室重弘君

(「反對ガアリマス」ト呼フ者アリ「アリマス」ト呼フ者アリ)

(小室重弘君演壇ニ登ル)

○小室重弘君(八十八番) 諸君、新聞紙法案ニ就イテ反對ガナイカラ演説ヲシナクテモ宜カラウト云フ議論ガアルヤウデスガ、私ハ先ヅ第一政府ガ吾々ノ議論ニ反對ヲシテ居ル、大ナル反對ガ、又山田泰造君モ此後私共ト所信ヲ異ニシテ居ル所以ヲ御演説ニナルサウデスカラ、一應ノ演説ヲシナケレバナラヌ譯デアリマス(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)諸君、想ハザリキ、吾々ハ今日ニ於テ又此新聞紙法案ニ對シテ、政府案ニ對シテ反對ノ演説ヲシナケ

レバナラヌト云フコトハ、私共今日ニ至ッテ新聞紙法案ニ就イテ此議會ガ自分ノ意見ヲ定メ、而シテ此新聞紙法案ノ改正ニ就イテ討論ヲシタコトハ、既ニ八回ニ及ンデ居ル譯デゴザイマス、然ルニ政府ハ尙此原案ニ據リマスルト、私共ノ平生主張スル所、否、吾々ガ國民ノ議論トシテ主張スル所ノモノニ反對スル、斯ノ如キモノヲ以テシマスノハ、甚ダ民議ヲ容ル、ニ容ナルモノデアラウト私共ハ考ヘル譯デゴザイマス、是ハ實ニ吾々ガ今日ニ於テ一言ヲ試ミザルヲ得ヌ譯デゴザイマス、諸君、私共ハ此新聞紙法案ニ對スル議論ノ如キモノハ、今ニ於テ利害ノ問題、或ハ損益ノ問題ト云フヤウニ解釋スルコトガ出來ナイ、今日デハ斯ノ如キ人權ニ關スル、人ノ權利、人ノ自由ニ關スル議論ニ至リマシタナラバ、是ハ即チ正邪ノ問題デアアル、是非ノ問題デアアル、曲直ノ問題デアアル、而シテ立憲、非立憲ノ岐ル、所ノ問題デアアルと思ヒマスカラ、是非此利害損益ト云フヤウナモノハ、先ヅ第一ニ考ヘテ見ナケレバナラヌマイト思フノデゴザイマス、今委員長カラモ御報告ニナッタ通、此中ノ主眼トスルモノハ何デアアルカト云フニ、幾ラモゴザイマセウケレドモ、原案ノ十八條、吾々ガ修正ヲシタ十三條ノ發行停止ノ事柄、此事柄ノ非理非道デアアル、道理ニ協ッテ居ラナイ、專制ノ痕跡ヲ今日ニ存シテ居ル、立憲政體ノ下ニ存スベカラザルモノデアアルト云フコトハ、存スベキモノデナイト云フコトハ、既ニ此院議ノ定ムル所ノモノデアアルノニ、尙今ニ至ッテ此行政權ノ上ニ斯ノ如キ危險ナル、危キ所ノ權力ヲ與ヘテ、サウシテ我々ノ言論ノ自由ヲ束縛スルト云フコトニ、牽制スルコトニ至リマシタノハ、私共ノドコマデモ反對シナケレバナラヌ所以デゴザイマス、政府ハ曰ク、最早此無制限デアアル、民議ヲ容レタモノデアアルト云フコトヲ申サレテ居ルガ、發行停止ヲ一週間ニシタノガ、何レニ民議ヲ容レタノカ、私ハ今日實際ノ上カラ見マスルトシテ新聞ヲ書イテ居ルガ、或ハ一日、二日、三日ト云フガ今日ノ實際デアアル、一週ト云フ長イ停止ハ殆ドナイ位ノコトデゴザイマスガ、併シナガラ之ヲ一週間ニシテヤルコトナラバ私ハ今日ヲ蹊タナイ、諸君ガ知ラル、如ク、一週間ニシタナラバ護歩シヤウト云フコトハ、今日ニ起ッタコトデハナイ、吾々ハ第六議會ノ時ヨリ一週間ナラバ話ヲスルト云フコトハ、既ニ出來タコトト云フコトハ存シテ居ル、然ルニ尙ホ吾々ガ執ッテ動かヌト云フモノハ、何ンデアアルカト云ヘバ、一日存シテ置イテモ、二日存シテ置イテモ、三日存シテ置イテモ、發行停止ヲ此條例ノ中ニ存シテ置ク以上ハ、決シテ之ヲ以テ言論ノ此新聞社ニ對スル自由ヲ保ツコトハ出來ナイ、ナゼト云ヘバ、行政官ノ手心次第今日停止ヲシテ明日解イテ、又明後日停止ヲスルト云フコトハ幾ラモ出來ル、然レバ三日ノ停止ヲシテモ、又三日ノ繼續スルコトガ出來ル、一週間ノ停止ヲシテモ、又一週間ヲ繼續シテ往クコトガ出來ルナラバ、一日存シテアッテモ其害ノ及ブ所ハ限ナイ譯デ、無期限ノ法律トチットモ違ハナイ

コトニナリマス、諸君ハ自分ノ頭ヲ拳骨デ叩カレ、バ人權ノ侮辱デアルト云フテ居ルガ、頭ヲ少シノ力デ叩クノハ是ハ我慢スル、痛ク叩クカラ我慢スルコトガ出來ヌト云フ道理ハナイノデゴザイマス、即チ正邪ノ問題ハ斯ノ如キ此刀筆ノ吏ガ述べルガ如キ無理窟ヲ以テ律スルコトハ出來ルモノデナイト考ヘテ居ル、過日末松政府委員ハ何ント言ハレタカ、縱令山ガ崩レテモ、縱令地ガ裂ケテモ、モウ是ヨリ一步モ退クコトハ出來ナイ、私共嘗テ聞イタ、伊藤内閣ハ立憲的ノコトヲ爲サル、誠ニ感服ノ至リデゴザイマス、併ナガラ獨リ新聞紙ニ就イテハ、輿論公議ヲ容ル、ト云フコトニ就イテハ、山ガ崩レテモ地ガ裂ケテモ、是ヨリ一步モ退クコトハ出來ヌト云フヤウナ事柄ハ甚ダ之ヲ惜ム、何トナレバ、諸君、宋人ノ嘗ツテ云ツタ、國家ヲ誤ルモノハ陛下ノ俗吏デアルト云フコトヲ言フテアル、私共思フ、斯ノ如キ暴言ヲナス、即チ甚ダ慎重ナラザル言葉ヲ以テ、地ガ裂ケテモ山ガ崩レテモ、モウ一步モ退カヌト云フヤウナ言論ヲ、此立法部ノ議場デ吐クト云フコトニ至ツテハ、吾々ハ是政府ノタメニ惜ムノデゴザイマス、願ハクハ肝膽ニ照シテ是等ノモノハ十分御考ヲ願フと思フガ、彼尙斯ノ如キコトヲ申スナラバ、吾々モ言ハナケレバナラヌ、私共ハ日月ガ天ヨリ落ルトモ、世界ガ滅裂ニ至ルトモ、此發行停止ハ削除シナケレバ斷ジテ止マヌト云フコトヲ斷言スルニ憚ラヌモノデアリマス、諸君、俗論ハ屢々正道ヲ誤ル、或者ハ言ヒマス、ソレハ世ノ中ハ笛主義デアルカラ、一枚ツツ皮ヲ剝イテ、今年一週間ニスレバ來年ハ全廢ガ行レルカラ、先ヅ我慢シタラドウダラウト云フ議論ガアルカ知ラヌガ、併ナガライツデモサウ云フ論ガ多クハ正道ヲ誤ルモノデアアル、私ガ此修正案ヲ提出シテ、之ヲ以テ貴族院ニ持ツテ往クナラバ、貴族院ハ前々通り同シ手續ヲ履ンデ、或ハ衝突ヲシテ何ニモ蛇モ取ラズ、蜂モ取ラズト云フコトニナルコトハ明デアアル、併シ私共ハ遺憾ナリト考ヘナイ、ナゼト云フニ、暫ク忍デ之ヲナスト云フコトハ行ル、コトガ出來ヌデ甚ダ遺憾デアツテモ、多年ノ公論ト云フモノハ、屹然トシテ動かザルコト山ノ如クト信ジテ居リマスカラ、已ムナクンバ今年出來ヌデモ宜イ、鍾ヲ貯ヘ馬ヲ肥シテ、即チ彌久ノ計ヲ爲シテ、政府ト對峙スルコト云フコトニシテ一步モ退カヌ譯デゴザイマス、貴族院モ尙今日ニ於テ吾々ノ議論ヲ容レナイト云フコトナラバ、貴族院ガ立論ニ就イテ民怨ノ府ト爲ルコトヲ畏ル、譯デアリマス、願ハクハ此修正案ニ就イテハ、敢テ討論ハ別ニイルマイト思フカラ、讀會ヲ省略シテ、直チニ此案ヲ議決セラレンコトヲ望ミマス、聊カ簡單ニ述べテ置キマス

○田中正造君(二百九十番) 茲ニ於テ一言述べマス
○議長(楠本正隆君) 議案ニ就イテ御演說デスカ、賛成デスカ、反對デスカ
○田中正造君(二百九十番) 即チ修正案ヲ賛成スル
○議長(楠本正隆君) 其場合ニ依ツテ登壇ヲ促シマス——決議ヲ要シマスル、該案ニ對シテ二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、二讀會ヲ開クコトニ決シマス
○吉本榮吉君(八十二番) 此案ハ條項ハ長イケレドモ、毎度々々出テ暗記シテ居ル位デアリマスカラ、直ニ二讀會ヲ開クコトヲ希望シマス
○議長(楠本正隆君) 直ニ二讀會ヲ開クコトハ異議ナキモノト認メマス——二讀會ヲ開キマス、而シテ議題ハ年々歳々議シ來リタル議案デアアルニ依ツテ、委員會ノ修正ヲ以テ議題トナシマス、朗讀ヲ省イテ全部ヲ議題ニ供シマスル、全部御隨意ニ討論御修正デ宜シイ、唯今反對ノ通告ガゴザイマス山田泰造君

新聞紙法案

第二讀會

○田中正造君(二百九十番) 反對ト云フノハ、修正說ニ反對デアリマス
○議長(楠本正隆君) 左様

(山田泰造君演壇ニ登ル)

○山田泰造君(二百八十七番) 諸君、本員ハ此新聞紙法案ニ對シマシテ一ツノ修正ヲ致シマシテ、此修正ノ動議ヲ起シテ、諸君ノ定規ノ賛成ヲ得テ此議案ヲシテ、貴族院マデモ通過致シタイト云フ私ハ希望デアリマス、故ニ成規ノ賛成ヲ得ルガタメニ其趣意ヲ聊カ辯シマス、第一條ノ五號第二項ヲ斯ノ如クニ修正ヲ致サント思ヒマス、編輯人二人以上アルトキハ各部ニ分ツヘシ若シ此區別ナキトキハ連帶ト看做ス但シ此屆出ナキモノハ編輯人タルコトヲ得ス又此結果トシマシテ、第十八條ノ第二項ニ「第一條第二條ノ屆出ヲ爲スモ實ヲ以テセサルトキハ發行人及其編輯ニ從事シタル者罪前項ニ同シ」即チ是ガ第一條ノ結果トシテ出マス、諸君ハ此新聞紙法案ニ就イテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、言フマデモナク諸君ハ御承知ノコト、思フ、抑此新聞紙法案ニ就キマシテハ、委員會ノ修正法案ノ委キハ第一期以來、此衆議院ノ開會以來、數回ノ開會院ハ殆ド滿場一致ヲ以テ經過シタノデアリマス、併ナガラ貴族院ヘ行キマシテ遂ニ否決セラレ、所ト爲リマシタ、是ハ諸君ガ御承知ノ如クデアアル、而シテ年々歳々同ジコトヲ繰返シテ居ル、唯今小室君モ既ニ認メテ此事ヲ申サレタ、若シ此事ヲ既ニ十分ニ認メナガラ之ヲ爲スト云フコトハ、徒ラニ虛勢ヲ張り空論ヲ吐クモノト私ハ言ハナケレバナラヌモノト思フ、何故ナレバ、實際通過スル能ハザルモノヲリキンダ所ガドウシマスルゾ、實地效ヲ爲サヌト云フコトハ明デアアルト云フコトヲ自ラ明言シテ居ルケレドモ、此法案ニ就キマシテハ、貴族院ノ協議員ト衆議院ノ協議室ニ於テ協議會ヲ開イタトキニ御聽ニナツタコトモアリマセウ、其時ニ貴族院ノ協議會委員會ノ或人ハ申サル、ニハ、縱令協議會ニ於テ衆議院ノ議決シタ協議會ガ可決スルモ、貴族院ノ本會ニ於テハ到底是ハ通過スルコトハ出來マセヌト云フコトヲ確ニ言ハレタ、不肖等モ正シク聽キタル所デアリマス、既ニ斯ノ如シ、然ルニ諸君ハ唯獨リ政府ヲ責メテ居ルケレドモ、貴族院モ亦立法院ノ議會デアリマス、我衆議院ト同一ノ權限ヲ有シテ居ル、貴族院ガ何ト云ハウトモト云フ語氣ト云フモノハ、吾々立法院トシナガラ、其立法院ヲ聊輕蔑ス

ルノ嫌ナキ能ハザルカ、宜シク吾々ハ慎重ヲ以テ議スベキモノト思フノデア
 ル、又私ハ翻テ其事情ヲ能ク見マスルト、貴族院ガ之ヲ否決スルノモ敢テ
 不當ナリ非理ナリトハ本員ハ認メヌノデア、何故ナレバ今新聞紙社會ノ
 狀態ヲ能ク通觀ナサイ、諸君モ其内部ニ於テ明ニ認メテ居ラル、コトデアリ
 マセウ、嘗テ東京日々新聞——是ハ現ニ政府ノ機關トシテ、諸君ガ十分ニ其機
 關タルコトハ認メテ居ラル、所デアリマセウ、而シテ其東京日々新聞ガ如何
 ナルコトヲシマシタ、嘗テ明治二十五年十二月十六日東京日々新聞ノ第六
 千三百五十二號帝國議會記事ト題スル記事ハ如何ナルコトデアリマシタラ
 ウ、諸君モ十分ニ記憶セラル、デアリマセウ、彼ノ記事中ニ「三百ノ頭顱彼レ
 固ヨリ土偶ニアラズ云々」彼等ハ最早此世ニ要ナキ骨骸ヲ齧テ以テ喰フ
 ベシ」斯ノ如キ言ヲ吐イテアルノデス、其當時當院ニ於キマシテハ諸君ガ非常
 ニ憤ラレタ——諸君ハ非常ニ憤ラレタ、不肖其場合ニ於テ、斯ノ如キモノハ敢
 テ齒ヲニ懸ラヌ考ヲ持ッテ居タ、然ルニ非常ニ激セラレテ告訴ノ手續ヲセラ
 レタノデア、告訴ノ手續ヲモ議決スル位ノモノデア、又其新聞紙ノ發行
 停止ヲ命ズルガ如キハ最モ相當ナリト本員ハ信ズル所デア、抑、我衆議院
 ハ吾々團體ノ俱樂部ノ如キモノデアリマセヌ、即チ陛下ノ立法院トシテ國
 家樞要ノ機關デアリマス、然ルニ斯ノ如ク侮辱ヲスルト云フコトハ果シテ如
 何ノミナラズ其新聞タルヤ世人ノ認メテ最モ優等ノ地位ヲ占ムルモノデア
 ル、而モ政府ノ機關デア、而シテ猶ホ斯ノ如シ、其他ハ推シテ知ルベキノ
 ミト本員ガ言フノハ決シテ無理ニアラザルヲ信ズルモノデア、又先キニ自
 由黨ノ機關デアリマシタル舊自由新聞ガ、明治二十六年十月二十五日第六百
 九十三號ニ天驚石破——天驚石破ルト題スル記事ガアリマス、是ハ世間ニ
 ニ有名ナル相馬事件——被告人ノ人々ガ免訴ニナッタ、是ト引換ニ錦織剛清
 ガ拘留ニナッタコトヲ記シタ記事デアリマス、其文意ハ如何デア、不肖之
 ヲ熟讀シマスニ、暗ニ我司法權ヲ侮辱スルカノ如キ嫌ガアルノデア、抑、
 司法權ハ天皇ノ御名ニ依ッテ行フ所、是レ又國家樞要ノ機關デア、而シ
 テ新聞紙ガ斯ノ如ク之ヲ嘲弄スルカ、侮辱スルカ、何タルコトデア、本
 員等ハ其意ノ在ル所ヲ知ルニ苦ムノデア、苟モ其國民トシテハ其國家ノ機
 關ヲ尊敬セザルベカラザルコトハ論ヲ踰タナイコトデア、然ルニ近來新聞
 紙ノ風潮率ネ斯ノ如クデア、若シ國民トシテ國家ノ機關タルモノニ對
 シテ斯ノ如ク侮辱スルトキハ、相當ノ處置ヲナスハ政府ガ當ニ盡スベキノ責
 任ト言ハナケレバナリマセヌ、若シ政府ガ相當ノ手續ヲナサヌケレバ、則チ
 政府ノ職務ヲ怠リタルモノト云ッテ不可ナルコトガナイノデ、國家ノ機關ヲ
 侮辱スルガ如キハ、即チ其國ヲ紊亂スルモノ、破壞スルモノ、社會ノ秩序ヲ破
 壞シ紊亂スルモノ、何シテ不問ニ措ケマセウ斯ノ如キモノハ刑法ニ別段制裁
 ガナイノデ、則チ是レ發行停止ヲ命ズル所以デア、而シテ外ノ新
 聞ニナイカト云ヒマスルモ幾ラモアルガ、私ハ此場合ニ於テ外ノ新聞ヲ舉ゲ
 ナイ、唯二ツヲ例舉シタト申シマスルハ、私ハ自由黨員デアリマスカラ外ノ

新聞ヲ舉グルコトハ好マナイ、却テ公平ノ判斷ヲ下スノ材料トシテ此二箇ノ
 新聞ヲ舉ゲタノデゴザリマス、諸君ハ此點ニ就イテハ宜シク御諒察ヲ願ヒマ
 ス、而シテ諸君、今ノ新聞紙ノ有様ヲ御覽ナサイ、之ヲ既往十餘年以前ニ比
 較シテ見マシタ時ハ如何デア、不肖ハ思フ、十有餘年前ニ在リマシテハ
 新聞紙ノ信用ハ天下ニ重ク、新聞記者ノ尊敬ト云フモノハ實ニ社會ニ厚カ
 タモノデア、然ルニ今日ノ新聞ハ果シテ如何、信用地ヲ拂ッタリト云フテ
 可ナルモノト思フ(ノウ)「ト呼フ者アリ」又記者ニ對シテハ如何デア、
 ソレハノウ「ト言フ、ノウ」ノ新聞モアリマス、私ハ惡イ例ヲ茲ニ舉ゲ
 ルノデア、然ラバ私ハ尙ホ進デ惡イコトノ例ヲ、私ガ現ニ聞キ居ルコト
 ヲ以テ一二ノ例證ヲ舉ゲマセウ、或ル新聞社デア、相當ナル地位ノアル人ガ
 虛構無實ノ事柄ヲ揭ゲテ連日掲載ヲ致シタデア、故ニ其新聞社ニ向ッテ
 是ヲ止メテ貫ヒタイト云フコトヲ請求ヲ致シタ、然ルニ其社長タル者ガ之ニ
 對シテ曰ク、或新聞社ガ或ル人ニ對シテ醜行ヲ連日掲載シタ時ニ三百圓ヲ取
 タ、併ナガラ本社ハ其社ヨリモ社員ガ多イカラ五百圓ヨリ下デハ止メルコト
 ハ出來ナイト云ッタコトヲ確カニ不肖等ハ聞イテ居ル、(名ヲ指シ給ヘ)「ト呼
 フ者アリ」又中ニハ新聞記者ノ中ニ、常々吾々ヲ誹謗シ、罵倒スル或新聞記
 者ノ既往ノ履歷ヲ聞イテ見タレバ、詐偽取財ノ宣告ヲ受ケテ居ルト云フコト
 ヲ聞イテ居ル、名ハ申シマセヌ、新聞社ト雖モ、新聞記者ト雖モ必ズ神様ノヤ
 ウナ人バカリハアリマセヌ、御役人デモ中ニハ犯罪ヲスル人ガアル、故ニ新
 聞社新聞記者ト云フテ必ズ善良ノ人ノミト斷定ヲ下ダスコトハ出來ヌ、而シ
 テ我現行ノ法律即チ誹謗律ニハ如何ナル事ガアル、苟モ人ノ榮譽ヲ害スベキ
 記事ハ事實ノ有無ヲ論ゼズ——其事實ノ有無ヲ論ゼズ、人ノ榮譽ヲ害スベキ
 コトヲ妄ニ記載スルコトガ出來ナイト云フノガ現行ノ法律デア、苟モ法律
 ナルモノハ其國民トシテ之ヲ尊敬セザルベカラザルモノデア、然ルニ此程
 ノ新聞ヲ見ヨ、日々ニ此犯罪ヲ爲シツ、アル、試ミニ取テ見マスルト、ドノ新
 聞ニシタ所デ常ニ人ノ榮譽ヲ害スベキコトヲ日々ニ掲載シテ恬トシテ顧
 ミズ、本員ハ之ニ痛歎スルノミナラズ、我日本國民ノ風俗、人情ガ斯クマデニ
 衰落セタルカト、他國ノ人ニ思ハレルガ實ニ歎息ノ至リダ、又新聞紙ガ斯ノ
 如キ記載ヲシテ恬ト顧ミズ、殆ド車夫、馬丁ノ如キ有様ナルニモ亦私ハ驚ク、
 是レ則チ新聞ノ信用ヲ失ヒ、新聞記者ノ地位ヲシテ衰落シタル所以デア、
 而シテ此由ツテ起ル所ハ、何ニ依ッテ生ジテ來タカト云フト、則チ本員ガ此修
 正ヲ提出スル所以デアリマス、今ノ新聞ノ有様ヲ見マスレバ、發行人トカ編
 輯人トカ云フ人ヲ見マスルト五圓、六圓若クハ拾圓、大抵拾圓位ガ止マリ、
 此者ヲ抱ヘテ置イテ、サウシテ書ク人ハ其他ニ在テ嗜キナ勝手次第ナ事ヲ書
 キ、半ヘ行ク時ハ何日デモ五圓以上拾圓以下ノ人ヲ入レルノデア、縱令此
 半ヘ這入ル人ハ自ら犯罪ヲ甘シテ行キモシマセウ、金力ノタメニ往キモシマ
 セウ、併ナガラ之ヲ爲サシムル人ニアッテハ如何、金錢ノタメニ人ニ罪名ヲ
 負ハセ、己ハ尙ホ平氣ノ平左衛門デ居ルト云フガ如キハ、抑、人間ノ德義トシ

テ許スベキモノナルヤ否ヤ、然ルニ新聞社ハ常ニ此法律ノ網ヲ潜ツテ、是又
恬ト愧ルコトナク、顧ルコトナキノデアル、此等ハ一般ニ諸君モ認メテ居ラ
レル所デアリマセウ、畢竟言ヘバ、此新聞紙法案ニ二人以上——編輯人二
人以上アルトキハ其主トシテ編輯事務ヲ擔當スルモノタルヘシ——是ガ則チ此
弊害ヲ生ズル所以ノ原因デアアル、若シ今ニシテ此弊害ヲ矯正セズンバ何レノ
日ニカ之ヲ矯正スルコトヲ得ン、若シ委員會修正ノ如キ法案ヲシテ通過セシ
ムルナラバ、是ヨリモウ一層大ナル弊害ヲ生ズルト云ハナケレバナリマセ
ヌ、既ニ今日保證金モアルシ、發行停止モアリシテサヘモ尙ホ斯ノ如クデア
ル、若シ之ヲ自由ニ放任シタラバ、此曉ハ如何デアリマスルカ、マア諸君
ハツンナコトハアリマスマイ、新聞紙ニ譽メラレタサガ一杯デ千代萩ノヤウ
ナ心持ヲ持ツト云フモノハ諸君ノ中ニハアリマスマイ、ケレドモ世間多クノ
人ノ中ニハ隨分アル、苟モ吾々ガ國家樞要ノ機關ニ參與スル以上ハ、國家ニ
弊害アルモノハ宜シク之ヲ排除スベシ、又國家ノ文運ヲ發達セシムルト云フ
コトニ於テハ果シテ如何デアアル、獨リ軍事上ノ發達ノミヲシテ其國ヲ好シト
スルカ、獨リ工業、商業ノミヲ發達シテ之ヲ好シトスルカ、本員ハ是ノミヲ
以テ足レリトハシナイ、此國民ノ意思ヲシテ高尚ナラシメ、發達セシムルノ
ガ最大緊要ナリト不肖ハ信ズルノデアル、則チ教育ノ依ツテ起ル所以デア
ル、然ルニ今日ノ新聞ノ有様ヲ見マサルニ、比々猥褻ノ事ヲ掲ゲ、虛構無實ノ事
柄ヲ掲ゲ、之ヲ見テ恬トシテ顧ミナイ、衆人皆之ヲ以テ笑柄ト爲ス、故ニ其
記事ノ信用モナク、又記者ノ信用モナイ、畢竟言ヒマスルト、新聞紙自ラ之
ヲ來シタ所以デアアル、新聞ノ事ハ私ハ其人自ラ爲スガ儘ニ任セルニシタ所
ガ、日本帝國ノ風俗ガ斯ノ如ク衰落セシムルト云フコトハ、本員ハ實ニ痛歎
ニ堪ヘザル所デゴザリマス、此事ハ本員ガ獨リ言フノミデハナイノデアル、
明カニ例證ガアルコトデアアル、因テ私ハ之ヲ善イ事ノ例ヲ舉ゲテ茲ニ申シマ
ス、吾々ガ最も敬愛スル所ノ當院ノ副議長ナル島田三郎君ガ歐米ヨリ歸朝セ
ラレタ時、曾テ之ヲ歎息セラレタル一場ノ演説ガアリマス、ソレハ毎日新聞
ノ明治二十二年九月四日ノ記事中デアリマス、島田三郎君ガ歐洲ヨリ歸ラ
レタ時政友諸君ガ寄リマシテ祝宴ヲ張リマシタトキニ、即チ三條亭デア
ル、其三條亭ニ於ケレマシテ演説ヲモラレタコトガアル、其要點ヲ一寸申上ゲマ
ス、小生ガ英國ニアツタ時ニ、半日ハ之ヲ讀書、半日ハ之ヲ書物ノ觀察ニ用
ヒタ、ナゼサウシタカト云フタナラバ、新聞ヲ見ルトキニハ、明日ニハ何ガア
ル、昨日見タコトハ何ンデアアル、斯ウ云フコトガ能ク分ル、故ニ半日ハ新聞ノ
タメニ潰シタ、而シテ其新聞ノ中ニデ一リ一リにゆず、すたんだーゾノ二新聞ヲ
メラレタル新聞デアアル、此英吉利ニ於ケレタル新聞ハ、反對黨ニ拘ラズ味
方ニ拘ラズ、物事ノ記事ト云フモノハ皆精確デアアル、縱令詳略ノ差ハアルニ
モセヨ、決シテ是ガ事實ノ上ニ於テ異ルコトハナイ、然ルニ我國ノ新聞ノ有
様ヲ見ルト、其黨派ニ依ツテ正ニ反對ノ事實ヲ舉ゲ、少モ事實ノ確定ヲ得ナ
イ、事實ノ確定ヲ得ズシテ、唯是ヘ議論ヲ爲スノハ、恰モ浮雲ヲ標準トシテ
測地ヲナスガ如キデアアル」ト云フコトヲ言ハレタ「抑、人ニ主義ノ異ナルア
リ、政論ニ反對ノ意見アルハ固ヨリ怪シムニ足ラズ、然レドモ同一ノ事實ヲ
記シナガラ、其新聞紙ノ異ナルト共ニ其記事ニ黑白ノ異アルニ至リテハ、讀

者孰ヲ眞トシ孰ヲ否トバズトセン、不定ノ記事ヲ基礎トシテ各自ノ意見ヲ定メ
ントスルハ、浮雲ヲ以テ測地ノ標準トナスガ如シ」諸君、如何デアリマス、
既ニ島田三郎君ハ多年新聞ニ從事セラレ、既ニ此嘆息アル年久シ、年久シキ
ニモ拘ラス、今日此新聞紙ノ有様ヲ見ルト、此弊ガ改良セラレテ居ルカ、
否、本員ノ見ル所デハ、議會開會以來一層甚シキ弊害ヲ生ジタト言ハナケレ
バナラス、既ニ弊害ノ極度ニ至ルトキニ於テ、尙ホ之ニ自由放任ヲ許スト云
フガ如キハ如何デアアルカ、殊ニ此度ノ修正案ノ如キハ尙ホ一層甚シイノガア
ル、保證金ヲ全廢シ、發行停止ヲ全廢シ、既ニ保證金ヲ廢シ發行停止ヲ全廢
スルニ至ツテハデス、之ニ代ニベキノ又擔保ト云フモノガナケレバナラス、
若シ此擔保ガナクシテ之ヲ許スト云フトキニハ如何デアリマスルカ、不肖ハ
思フ、無資産ノ無賴漢ニ無抵當デ數万圓ノ金ヲ貸スニ異ナラヌト私ハ斷言シ
テ憚ラナイモノデアリマス、而シテ發行停止ガ大變ヤカマシクアリマスガ、
凡ソ何等ノ事物ニ拘ラズ、無限ノ自由ヲ得ルト云フコトハ決シテ出來マセ
ヌ、必ズ其物ニ就イテハ取締ト云フモノガアル、取締ガアル以上ハツレニ制
裁ガアル、制裁ノ結果トシテ止ムルコトハ許多類例ガアル、即チ曩ニ當院ニ
於テ可決サレタル辯護士法案ノ如キ、普通刑法ノ外ニ尙ホ其職務上ニ對スル
ノ停止ガアリマス、尙ホ曩キニ當院ニ於テ第八議會ニ可決セラレマシタ所
ノ法案ニ就キマシテモ、或ル場合ニハ禁止停止ノ制裁ガ附イテ居ル、斯クナケ
レバナラスノデアアル、弊害ヲシテ……弊害ヲ制止スルコトナクンバ、其弊害
ヲシテ益ニ助長セシムルノミデアアル、抑、立法部トシテ弊害ヲ排除スルコト
ニ努ムルハ立法部ノ責任デアアル、然ルニ其弊害ヲ助長セシムルガ如キニ至
テハ尙ホ弊害ノ大ナルモノト言ハナケレバナリマセヌ、故ニ本員等ハ決シテ
之ニ同意ヲスルコトハ出來ヌノデアアル、又立法部トシテ立法部タルベキノ原
則ト云フモノハ遵守シナケレバナリマセヌ、法律ハ普通ノ權利ヲ保護シ、又
法律ハ名譽自由ヲ保護ス、免ニモ角ニモ是等ノ格言ハ、本員等ハ服膺スベキ
ノ價值アルコトヲ信ズルモノデアアル、徒ラニ空言漫語ヲ以テ快シトスルガ如
キハ、實ニ本員ノ取ラザル所デアアル、實ニ新聞ノ弊ヤ極リハナイ、中ニハ途
方途徹モナイコトガアル、一寸序デスカラ御話申シマスガ、此前ノ銀行法案
ノ時ニ、或新聞紙ガ、本員ハ田尻次官ノ頼ヲ受ケテ血眼ニナツテ奔走シタ、
是等ハ私ハ齒牙ニ掛ケヌカラ、敢テ申シマセヌケレドモ、政府委員ニ頼マレ
テ私ガ勸誘シタト云フ、併ナガラ私ハ政府委員室ニ往ツタコトモナケレバナ
ンニモナイ、又此ニ三百ノ議員ガ御出ニナルケレドモ、私ガ銀行法案ニ就イ
テ勸誘シタコトガアリマスルカ、私ハ我同僚タル所ノ水島保太郎君ト議シ
ルヨリ外勸誘シタコトモナンニモナイ、ナゼト云フニ本員ハ常ニ心掛ケテ、
實ニ自ラ嗜ム所信ズル所ヲ守ツテ居ル、故ニ決シテ信ズル場合ニ於テハ動か
ヌト云フノガ、私ノ決心デアリマス、又其心ヲ以テ他人ヲ推量ツテ、他人ニ
向テ運動致シタコトガナイ、獨リ銀行法案ノミデハアリマセヌ、更ニ私ハ運
動シタコトハナイノデアアル、何等ニ依ツテ是等ノ事ヲ書クカ、實ニ虛構無實
モ甚シイ、少シハ類シタコトナラバマダシモ、其頃ノ新聞ヲ御覽ナサイ、各
新聞ガ色々、誰ガ何万圓取ツタ、誰レハ五万圓ノ賄賂ヲ取ツタ斯ノ如キ記事
ヲ諸君ハ眼ノ前ニ見テ置イテ、是等モ弊害ナシト尙ホ思ハル、カ、認メラレ

ルカ、決シテ諸君ガ内部ノ真心ニ問フタナラバ、新聞紙ノ弊害ノアルコトハ本員ト同感デアリマセウ、既ニ斯ノ如ク弊害ノアル以上ハデス、貴族院ガ此事實ヲ認メテ通過セヌト云フノモ決シテ不理ニアラズ、不當ニアラズト本員ハ斷言シテ憚ラヌモノデアアル、徒ラニ空論虚勢ヲ張ツテ、唯新聞ニ阿ルガ如キコトハ、本員ノ最モ取ラザル所デアアルノデアリマス、私ハ茲ニ此修正案ヲ持出シテ成規ノ賛成ヲ得タイ、併ナガラ此趨勢ニ於テ、又私ハ得ルコトノ難キヲ信ズルノデアアル、則チ此空論ヲ……之ヲシテ空論タラシムルコトヲ、茲ニ一言ヲ述ベテ本員ハ此演壇ヲ退キマス

○議長(楠本正隆君) 山田君ノ修正ニ就イテ定規ノ賛成ヲ得ルヤ否ヤ、修正案ヲ一應朗讀致シマス

○小室重弘君(八十八番) 議長、唯今ノ修正ハ……

○議長(楠本正隆君) 先ヅ成立ツヤ否ヤ試ミヤウト思ヒマス

○小室重弘君(八十八番) 此事ニ就イテハ、山田君御一人ノ意見デアラウト思ヒマスガ、誰カ賛成ガアッタノデゴザイマス

○山田泰造君(二百八十七番) 賛成ハ是ヨリ問フ所デアリマス

(奥田書記官長朗讀)

第一條第五號第二項

編輯人二人以上アルトキハ各部門ニ分ツヘシ若シ此區別ナキトキハ連帶ト見做ス但此屆出ナキモノハ編輯人タルコトヲ得ス

又第十八條第二項

第一條第二條ノ届出ヲナスモ實ヲ以テセサルトキハ發行人及其編輯ニ從事シタル者罪前項ニ同シ

(此時「賛成ハアリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 山田泰造君ノ動議ハ定數ノ賛成ガアリマセヌ

○小室重弘君(八十八番) 既ニ山田泰造君ノ動議ニ賛成ガアリマセヌケレバ、讀會ヲ省略シマシテ直チニ議決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ通告ガアリマス——田中正造君

(田中正造君演壇ニ登ル)

○田中正造君(二百九十番) 輿論ガ既ニ定ツテ居ルノデアリマスカラ、演壇ニ登ツテ賛成ヲスル程ノ賛成ヲシナイデモモウ極マツテ居ル、宜イヤウナモノデゴザイマスルガ、頭數デ負カシタトカ何トカ、何カ逃路ヲ見付ケル政府、是ニ對シテハ能ク話ヲシテ聽カシテ置カナケレバナライ、デ本日ハ政府委員ハ豫テ無責任ノ主義ヲ執ツテ、此肥塚君ノ演說中モ一人モ說明委員ナリ大臣ナリ影ヲ見セナイト云フヤウナ位ナ氣樂ナノデアアル、此氣樂ハ何デアアル、議會ハドウ決議シヤウトモ山ガ崩レヤウトモ衰龍ノ蔭ニ於テ不認可スレバツレデ用ガ足リル、斯ノ如キ不德義ナ舉動ガアルノデアアル、爲ニ言ハズトモ分ツタコトデモ言フテ聽カシテ置カナケレバナライノデアアル、又唯今ノ山田君ノ演說ノ如キ、是ニ對シテ反對ノ演說ヲスル價值モ何モアルモノデハナイケレドモ、是モ一二話シテ置カナケレバナラヌコトガアルノデアアル、マア細カナ事ハ暫ク措イテ、新聞記者モ神ナラヌ身ダ、神デハナカラウ、マア何ヲ云フノデアアルカ、自由黨ハ神デアアルカ、自由黨ガ神ニナル時代ハ新聞記者モ神ニナルノダ、唯新聞記者ノ方ガ早ク神ニナルノデアアル、同シ人間デア

ルノダ、又何ヲ世迷言ヲ言フカ、新聞記者ノ新聞ニ褒メラレタガツテ妙ナコトヲ言フノデアアルト、善イコトハ、親孝行ヲスルモノガアルナラバ、親孝行ノ真似ヲシテモ宜イノデアアル、新聞記者ニ惡ク言ハレテモ政府ニ褒メラレタイ、何ヲ言フノデアアル、又昔ノ新聞ハ正直デアツタガ、今ノ新聞ハ不正直デアアルト、其通り發行停止ガナイ時分ノ新聞ハ、今更宜カッタト云フコトニナツテ來ル、法律ガ密ニナレバ、法律ヲ潜ルト云フコトハ是ハ山田君ノ如キ、博士ノ代官人ニハナイガ、ドウモ或ル學士ノ三百代言杯ニハ、能ク此法律ヲ潜ル者ガアル、則チ神ナラヌ人生ニハ免レナイノデアアル、又島田三郎君ノ古イ演說、是ハ五六年前ノ明治二十二年カノ演說デアアル、成ル程山田君ハ學者デアアル、六年前ノ演說ヲ引張出シテ之ヲ議場ノ證據物中、第二號證カ三號證ノヤウデアツタ、是ハ定メシドクカラカ御迴シニナツタ材料デアアルモノト見エテ、材料ガ餘リ多カッタカラ御氣ノ毒ダガ演說ガ纏ラナイ、三歳ノ小兒ニ餘リ荷物ヲ多ク背負セルト云フト脊負キレナイ、モツツト材料ヲ少シ御渡シニナレバ宜カッタノデアアル、ソレハ島田君ノ演說カト云フト、島田君ノ演說ニ就イテ御話ヲシマセウガ、島田君ハ現在新聞記者デアアル、新聞記者ニシテ六年バカリ前是ダケ心配ヲシテ居ルノデアアル、六年前バカリニ新聞記者ガ此位ノ公平ナ心ヲ持ツテ居レバ、今日ノ新聞記者ハ一ノ島田君ニアラズシテ千百人ノ島田君ガアルト見テ宜イノデアアル、サレバ發行停止ヲ何ヲ苦シデ置ク必要ガアルカ、斯ノ如クデアアル、又山田君ハ、山田泰造ヲ惡ク書イタメテ書大層怒ルガ、ソレハ新聞社ガ惡カッタカ知レナイ、山田君ヲ毎日褒メテ書イテ居タラ宜カッタラウニ、デ、新聞ガ——新聞ガドウモ亂暴ナコトヲ書クトカ何トカ、實ニ是ハ自由主義ヲ取ル人ノ平日演說デモスル人ノ說ニハ、餘リ間違ツテ居ルカラ、ソレダケハ御話ヲシテ置カウト思フノデアアル、ナゼナレバ社會ノ制裁ヲドコニ置クノデアアル、社會ノ制裁力ト云フモノガアルノデ、例ヲ演說ニ取レバ、如何ニ辯士ガ政府ヲ罵詈スル演說ヲシテモ、今日ノ所デハ聽衆ノ耳ガ肥エテ居ツテ、却テ辯士ガ惡ク言ハレルノデアアル、不當ナ攻撃ヲスレバ——政府ヲヒドク惡ク言ヘバ聽衆ノ耳ガ肥エテ居ルカラシテ、決シテ此演說ハ通過サセナイノデアアル、所ガ矢張是ニ立會フ所ノ警察官ハ二十五圓カ八圓ノヤッガヤツテ來テ、法律ヲ楯ニ取ツテ、堂々タル他日大臣ノ候補者トモナルベキ人物ノ演說ヲ、八圓カ五圓ノヤッガ之ヲ中止スルト云フガ如キハ何デアアルカ、此巡查ヨリ警察ヨリハ聽衆ノ方ガ耳ガ肥エテ居ルカラ心配ハナイ、矢張新聞モ惡口ヲ書クガ宜シイ、何ヲ書イテモ嘘ヲ書イテモドウシテモ社會ノ眼ガ高イノデアアル、詐ヲ書ケバ社會カラ此新聞ヲ排斥スルカラ、ソレデ宜シイノデアアル、何ヲ苦シデ山田君ガ獨リツンナニ頭ヲ痛クスル譯ハナイノデアアル、デ、自由黨中ニモ小室重弘君ノ如キ、實ニ此法案ニ就イテハ泥中ノ蓮ノ如キ立派ナ御方ガアルカト思ヘバ、又山田君ノ如キ憫レ無情ナル言ヲ御述ニナル御方モアルノデアアル、是ヨリハ政府ノ側ニ向ツテ其邊ヘ出テ來タカ出テ來ナイカ、若シ政府委員タルモノガ居ルナラバ、耳ノ穴ヲ明ケテ聽クベシ、何ヲ以テ發行停止ヲ拒ムカ、凡ソ世ノ中ニハ賞罰ト云フモノガナケレバナラヌノデアアル、此政府ガ新聞ニ對スル待遇ハ唯獨リ罰ノミヲ用ヒテ、何レノ所ニ賞ヲ行フタルコトガアルカ、彼ノ日清戰爭以前ハ暫ク措イテ、日清戰爭以來ニ取ツテハ聞カナケレバナライノデアアル、成ル程

此新聞ニ此新聞ノ行ガ惡イコトガアルニモセヨ、隨分亂暴ナ書方ガアルニモセヨ、惡イコトヲ以テ賞ト云フモノヲ差引スルコトハ出來ナイノデアアル、如何ニ茲ニ亂暴ナ人間ガアツテ、酒ヲ飲ムヤ必ズ朋友ト腕力ヲ以テ喧嘩ヲスル、此亂暴人ガ一朝軍ニ出テ戰爭ニ臨ミ立派ナル功ヲ奏シタナラバ金鵄勳章ヲモ與ヘナケレバナラヌノデアアル、茲ニ色ヲ好ムヤツガアル、大本營ノ下ニ於テ藝者ニ溺レテ、お菊ト云フ女ヲ受出シタル色ヲ好ム馬鹿野郎ガアル、斯ノ如キ者ガ若シ有ルトシテカラガ、功ガアレバ金鵄勳章ヲ遣ラナケレバナラナイノデアアル、奈何ゾ其罪ヲ以テ其功ヲ滅スルカ、若シ功ガアレバ功ヲ賞サナケレバナラナイ、此新聞タルモノハ政府ノ言フガ如ク、山田君其他ノ自由黨ノ諸君ノ常ニ唱フルガ如ク、惡イモノトシテカラガ、對韓問題以來、日清戰爭以來ト云フモノハ、日清戰爭ニ就イテト云フモノハ、新聞ノ功ハドノ位アルヤト云フコトヲ記憶シナケレバナラナイノデアアル、先日既ニ末松謙澄君ハ此演壇ニ於テ御盡力ニナツタコトモ覺エテ居リマスガ、其位デハイケナイノデアアル、御盡力ニナツタコトハ覺エテ居リマスガ、其位デハイケナイノデアアル、申スマデモナイ、軍ノ始ルニ當テ其國ノ元氣ヲ發揚シ國力ノ團體ヲ能ク固メ、元氣ヲ鼓舞シ獎勵シ、一トシテ新聞屋ガ何ヲ戰ニ就イテ惡イコトヲシタカ、是ダケノ宜イコトヲ居ルノデアアル、且ツ又遼東其他滿州、威海衛、臺灣等ニ皆新聞記者ト云フ者ガ參ッテ居ル、此新聞記者ガ軍ノ方ニ利益ニナルコトハ報道スルケレドモ、不爲ニナルコトハ何ヲ報告シタノデアアル、隨分兵站部ノ弊杯ト云フモノハ、當時ニ於テ知ラザル新聞記者ハ一人モナイノデアアル、此兵站部ノ弊杯ト云フモノハ、斯ノ如キ事ヲ内地ニ報告シテ、之ヲ新聞ニ記載シテカラガ矯正スル所ノ、之ヲ矯メル所ノ利益ヨリハ損害ガ大キイカラシテ、軍場ニ出テ居ル新聞記者ハ慎デ此兵站部ノ腐敗、罐詰ヲ開ケテ見レバ大抵ハ腐敗シテ居ル、烟草ヲ買ヘバ北海道デ出來ル所ノドンダノ葉ト云ツテ木ノ葉ヲ刻シタ烟草、酒ハ一本一圓五十錢、斯様ナ亂暴ナルコトヲスル、色ニナケレバ其他ノ惡イコトハ澤山アルケレドモ、之ヲ説キ、戰爭中ノ世ノ中ニ發布シテ見テカラガ、ドウモ害ガ多クシテ利益ガ少イカラシテ新聞屋ノ、如何ニ新聞屋ガモノヲ書ク、無闇ニ書クカラト申シテモ、無闇ニ事ヲ許イテ國ノ不爲ニナルヤウナコトヲスル意氣地ノナイ新聞記者ノ一人モナカッタノデアアル、ドコニ不長ナルコトガアル、是レ寧ロ功ニ數ヘ込マナケレバナラヌノデアアル、又三國ノ干渉杯ニ就イテハ當路者ガ、其當路ノ人ガ氣ガ付クヨリハ新聞屋ノ方ガ耳ガ早カッタノデアアル、三國ノ干渉ガ來ルゾ來ルゾト云フヤウナコトヲ、新聞記者ノ方ガ外務ノ御役人ヨリハ少シ早カッタヤウニ覺エテ居ルノデアアル、ドコニ惡イコトガアル、又愈々以テ三國ガ干渉シテ來タ時ニ、新聞記者ハドウ云フ風ニ決心ヲシタカ、此新聞ニドウ云フ風ノ方策ヲ執ツタカ、先ヅ國ノ元氣ヲ強イコトヲ外國ニ示シ、更ニ外國ニ向ッテハ自主ノ運動ヲ國デナス位ニ元氣ヲ發達サセ、サウシテ國ノ強イト云フコトヲ見セテ置イテ、此中ニ伊藤、陸奥、此全權委員ヲシテ十分ニ此國ノ全權委員タルノ任務ヲ立派ニ盡サセヤウ、此兩人ノ威望ヲ落サナイヤウニシヤウ、ソレニハ國ガ弱クテハイケナイカラシテ、國ヲ強ク見セ掛ケナケレバナラナイト云フ仕事ヲシタノデアアル、立派ナ仕事デアツテ、是ガ何デ惡イコトガアル、斯様ナ善イ事バカリヲ數ヘ舉ゲテ、連モ枚舉ニ進アル譯デナイ

ノデアアル、斯ノ如ク此軍ニ就イテ功ノアルモノナラバ、平日新聞ノ一個人ニ就イテ如何ナル事ガアラウトモ、此新聞屋ニハ立派ナル勳章爵位ヲ與ヘナケレバナラナイノデアアル、併ナガラ新聞屋ト云フモノハ爵位勳章、ピカ／＼スル有形物ヲ欲シガル譯デハナイノデアアル、即チ是ニ賜ル勳章ヲ與ヘテ損ヲシナイモノガアルノデアアル、即チ惠シテ費ヘズ、物ヲ與ヘテ政府ノ國庫ニ損ノナイ與ヘ方ト云フモノガ宜イノデアアル、伯爵ガ侯爵ニナレバ則チ國庫ガ損ガアルノデアアル、無闇ニ新華族杯ノ出來ルノハ國庫ニ損ガアルガ、今新聞屋ニ爵位ヲ與フルニ國庫ニ損ノナイ與ヘ方ガアルノデアアル、何デアアルカ、欲スル所ノモノヲ與フル、即チ發行停止ト云フモノヲ止メルト云フコトガ宜イノデアアル、是ダケノ道理ノアルモノデアアル、區々タル行懸リノ新聞條例ニ嚙リ著イテ、或ハ東京日々新聞ガ云々トカ何ダトカ、ソレナコトヲ一局部ニ頭ヲ入レタナラバ、是ハ何トデモ理窟ガ附クモノデアアルガ、前ニ申ス通大局面ニ就イテ功ノアル者ハ賞スベシ、罪アルモノハ罰スベシ、新聞ハ其他ノ隨分罰則ニ於テ十分ニ事ノ足リルコトデアアル、發行停止杯ト云フ無法ナル、暗闇デ人ヲ撲チ擲グル如キ無法ナル法律ヲ此立憲政治ノ下ニ置クト云フコトハ第一耻入ッタ話デアアル、又外國ニ聞エテモ、未ダ日本ノ國ハ發行停止ノ必要ナ國デアアル、又吳々モ新聞ガ如何ナル亂暴ナコトヲ書カウトモ、社會ノ制裁力ガアルカラ其賞排ハ決シテ政府ノ心配ヲ蒙ラナイノデアアル、演説ヲ長クシロト云フ注文デアアレバ、ソレハ山田君位ニハヤリマスガ、私ハ唯發行停止ノ一ニ就イテ簡單ナル意見ヲ申述ベタノデアアリマス、幸ニ此ニ政府委員ガ出テ來タヤウデゴザリマスカラシテ、意見ガアルナラバ政府委員ハ御自説ヲ御述ベニナル方ガ宜イ、尤モ委員會ニ於テ降參シタナラバ、敢テ復タ茲ニ於テ演説ヲ爲サルニ及バヌ、政府委員ノ演説ニ依ッテハ、又更ニ御質問ヲ申スコトガアラウス

○山田泰造君(二百八十七番) 一寸田中君ノ演説ニ對シテ一言申シテ置キマス

(田中正造君(是ニ答辯スル例ガナイト呼ブ))

○山田泰造君(二百八十七番) 唯今田中君ハ古イ新聞デアアル、ドコカラカ廻シテ來タカト云フ如キ語氣ヲ以テシタガ、本員ハ毎日新聞ハ明治六年頃カラ明治八年カラハ皆取揃ヘテ持ッテ居ル、其他ノ新聞モ古イノヲ皆持ッテ居リマス、是ダケヲ一寸申シテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 小室重弘君

○小室重弘君(八十八番) 最早別ニ御論モゴザイマセヌ、山田君ノ御論ニハ贊成スルモノモナイト思ヒマスカラ、讀會ヲ省略シテ確定議ニナランコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略シテ確定議ヲ採ルベシト云フ小室重弘君ノ御論、御異議ナシト認メテ宜シウゴザリマス

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

新聞紙法案

○議長(楠本正隆君) 然ラバ二十八條ニ至ルマデ併テ確定議ヲ採リマス、該

案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 大多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、即チ該案ノ確定ヲ報シマスル

○肥塚龍君(百七番) 第三ノ日程デゴザイマスガ、唯今第二日程ノ修正案ガ確定ヲ致シテアリマス、第三日程新聞紙法案ハ、即チ此修正案ハ精神ガ第二日程ニ移ッテ第二日程ノ修正案ガ出來テ居ル、第二日程ノ修正案ガ確定致シタ以上ハ、第三ノ日程ハ自然消滅シタモノデアラウト思ヒマス、此段……

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第三ハ、唯今第二ガ確定致シマシタカラ自然消滅ニ歸シマス、次ハ第四、民事訴訟法施行條例中削除法律案、朗讀ヲ省略シテ第一讀會ヲ開キマス

第四 明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例第十二條ハ明治二十九年三月三十一日限り削除ス

○田口卯吉君(二百八十九番) 是ヨリ酒造稅ノ委員會ヲ開キマスカラ退席ヲ致シマス

○議長(楠本正隆君) 酒造稅則委員會ガ調査ノタメニ退席セラレマスガ、諸君ノ承認ヲ請ヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 草刈親明君

(草刈親明君演壇ニ登ル)

○草刈親明君(二百三十一番) 私ハ明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案ニ就キマシテ、聊カ提出ノ理由ヲ申述セヤウト思ヒマス、此案ハ簡單ナルコトデゴザイマシテ、又第八議會ニ於キマシテハ、本院ガ全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、然ルニ貴族院ハ此問題ヲ以テ餘程重大ナルモノト認メラレマシタノデゴザイマス、或ハ他ニ理由ガゴザイマスルハ相分ラヌコトデゴザイマス、然レドモ、兎ニ角非常ナル討論ノ末ニ否決致シマシタルガ故ニ、竟ニ今日當衆議院ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ事實ニ相成ツタモノト信ジマス、勿論本案ニ就イテ政府委員ガ貴族院ニ於キマシテ申立テマシタル所ヲ見マス、政府モ本案ニ就イテハ同意デアルト云フコトニ相成ツテ居タデアリマス、故ニ本年度モ亦政府モ御同意ノコト、私ハ信ジマス、而シテ此法律案ノ是非一部ヲ削除セヌケレバナラヌト云フ理由ハ、抑、國民ニ對シテハ貧富ノ區別ヲ以テ、上訴ノ途ヲ一方ニ於テハ開キ、一方ニ於テハ杜絶スルコト云フコトハナイノデアアル、然ルニ此民事訴訟法ノ第十二條ニ依ツテ見マスレバ、正シク貧富ニ依ツテ國民ノ權利ヲ消長セシメテ居ルノデゴザイマス、即チ假令如何ノ誤判、如何ナル不當ノ判決ニ對シテモ、十圓ト云フ豫納金ヲ納メヌケレバ上告ト云フモノヲ致スコトガ絕對的ニ出來ナイコトニ相成ツテ居ル、是ハ改メテ申スマデモゴザイマス、サウ云フ法律アルガ故ニ、此十圓ヲ納メナケレバ上告ガ出來ナイト云フ箇條ヲ削除スルト云フノデゴザイマス、昨年貴族院ニ於キマシテ此法律案ニ反對サレマ

シタル所ノ、其理由ヲ議事筆記等デ見マスルニ、先ヅ一ハ若シ此十圓ト云フ豫納金ノ制ヲ廢シタラバ、訴訟ト云フモノガ亂起スルデアラウ、事件ト云フモノガ多クナツテ、隨テ裁判費用ト云フモノモ亦多クナルデアラウト云フコト、斯ノ如キ例ハ西洋ニモアリ、支那ノ昔三千年以前ニモ之ニ類シタル所ノ法律ガアラタト云フ谷君杯ノ御説ガアラタ、遂ニ否決サレタノデゴザイマス、然ルニ是等ノ説ヲ稱ヘラレマスル所ノ人ハドウ云フ方デアアルカト申シマスレバ、或ハ元ノ司法官デアアルトカ、或ハ相當ノ地位ヲ持タレテ居リマスル所ノ人ハ意見デゴザイマス、ケレドモ縱シ歐羅巴ニ斯ウ云フ例ガゴザイマシテモ、歐羅巴ニ斯ウ云フ例ガアル、斯ウ云フ法律ガアルト云フコトガ是ナラバ、ソレニ從フハ宜シウゴザイマスケレドモ、其法律ガ宜シクナイ、其例ガ惡例デアアルト云フコトヲ知リマシタナラバ、西洋ニ此例アルガ故ニ我日本國ニモ此法律ヲ存シテ置カナケレバナラヌト云フ道理ハナイノデアアル、又濫訴ヲ防グト云フコト、其事ニ對スル意見ヲ見マスルノニ、若シ此豫納金ト云フモノヲ廢シタラバ、所謂世ニ三百代言ト云フ者ガアツテ、其者ガ良民ニ對シテ訴訟ヲ勸メテ、勸誘シテ、サウシテ無闇ニ上告ヲヤラセルデアラウト云フコト、ソレカラ上告スレバ何箇月カ何年カノ間執行ヲ免ル、コトガ出來ルカラ、十圓ト云フ金ヲ廢シマシタナラバ、則チ上告スルモノガ多クナルデアラウト云フコト、此二ツニ過ギナイノデゴザイマス、所ガ、此二ツノ事實ハ頗ル間違ツタコトデ、今ヨリ七八年以前ノ裁判官、或ハ今ヨリ八九年以前ノ司法官ノ眼ヨリ見タナレバ、三百代言ノ手ニ掛ツテ、三百代言アルガタメニ訴訟ノ濫起ヲ防ガナケレバナラヌト云フ感情ヲ持チマセウ、併ナガラ今日ハ全ク之ニ相反シテ居リマス、今ヨリ七八年ヲ見マスレバ、上告ナリ、控訴ナリ、一審ナリ何ナリ、代言人ト云フモノニ、訴訟代人ヲ、普通ノ人間ニ訴訟代人ト云フモノヲ許シテ居タノデアアル、何人デモ免許ヲ得ナイ所ノ代人ヲ選ンデ、サウシテ訴訟ノ代理人トナスコトヲ得タノデアアル、故ニ是等ノ徒ハ或ハ利益ニ惑フテ其利益ヲ得ントシテ、サウシテ實際勝利ノ見込ナク、實際勝利得ベカラサル所ノ訴訟ヲモ、良民ヲ欺イテナサシメタコトガアリマシタラウケレドモ、辯護士法實施以來ハ然ラズ、辯護士法實施以來ハ司法裁判所ニ於キマシテハ、如何ナル事故ガアツテモ、免狀ヲ取ツタ所ノ、即チ登錄ヲ得タル辯護士ニアラズンバ訴訟ノ代人ヲ許サヌノデアアル、成ル程八九年前ニハ三百代言ト云フ者ガアツテ、或ハケムト云フ者ガアツテ、サウシテ訴訟ノ濫起ヲシタト云フ事實ガアツタニハ相違ナイガ、今日ハサウ云フコトハナイノデアアル、況ヤ年々法律社會モ世ト共ニ大ニ進歩シ來リマシタルガ故ニ、今日ノ國民ハ今ヨリ七八年前ノ國民ノ如キ、實ニ一目瞭然勝利ノ見込ナキモノヲ、代人ニ欺カレテ訴訟ヲスルト云フガ如キコトハナイノデアアル、殊ニ況ヤ司法省ナリ、裁判所ナリノ注意ニ依ツテ、此辯護士組合會ト云フモノガ、頗ル其點ニ注意シツ、アル今日デゴザイマシテ、而シテ今日ノ辯護士ガ七、八年度ノ代言人ニ對シテ自ラ其名譽ヲ重ズルコトガ又高イノデアアル、故ニ自分ノ名譽ヲ重ズルコト同時ニ見込ナイ訴訟ヲ僅バカリノ金ノタメニ是認シテ、サウシテ裁判所ヘ參ツテ其理由ヲモ述ブルニ由ナク、赤耻ヲ擡クヤウナ辯護士ハ今日割合ニハナカラウト思ヒマス、ソレカラ其次に上告ヲスレバ、執行期限ガ延長シテ二箇月ナリ三箇月ナリ、其時間ノ猶豫

○高橋安爾君(二百三十七番) 唯今演說中デゴザイマスガ、見渡ス所定數ニ足リマセヌ、ツレデ此演說ハ委シクスル必要ハアラウト思ヒマス、即チ昨年邊ニ於キマシテ、貴族院ハ本案ニ對シマシテ一向理窟ガ分ラヌト云フタ人モ澤山見ルヤウデゴザイマス、演說ヲ省略スルト云フコトハ本案ニ就イテ宜シクナイ、ツレ故ニ次回ニ於テ引續イテ議セラレンコトヲ希望シマス

○小室重弘君(八十八番) 大抵人ガアリマス

○草刈親明君(二百三十二番) 大抵アルト思ヒマスガ如何デゴザイマス(ヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ何分ニモ短クヤリマス、此小事件ニ數ガ多クナツテ、大事件ニ上告ノ數ガ少クナツタト云フコトハ、則チ先キニ申シマシタ所ノ此統計年鑑デ明カデゴザイマスルケレドモ、尙ホ貴族院ト云フコトモゴザイマスカラ、一言申シテ置カウト思ヒマスガ、地方裁判所ノ此上告デアル、此地方裁判所ノ上告ノ數ヲ見マスルノニ、即チ小事件ノ方ノ數ヲ見マスルニ、明治二

明治二十五年三月三十一日逕信省認可 (二三) 印刷局印刷